
日本家族社会学会
第20回大会プログラム

2010年9月11日（土）・12日（日）

開催校・会場：成城大学

大会日程

会場：成城大学

▼第1日 2010年9月11日（土）

| | | |
|-------------|---|----------------------------------|
| 09:30~ | 受付開始 | 711 |
| 10:00~12:00 | 自由報告(1) ①仕事と生活 ②性別分業・父親役割 ③ライフコース ラウンドテーブル 「私の家族社会学研究—学会化以前の家族社会学セミナー時代をふりかえりながら—」 | (721) (722) (723) (733) |
| 12:00~13:30 | 昼休み 編集委員会 研究活動委員会 NFRJ委員会 庶務委員会 | (724) (725) (732) (726) |
| 13:30~16:00 | 学会化20周年記念 編集・研活共同企画テーマセッション2010「日本の家族社会学は今—過去20年の回顧」 | (007) |
| 14:00~16:00 | テーマセッション(1) 「ワーク・ライフ・バランス研究における問いの立て方」 | (731) |
| 16:15~16:45 | 学会化20周年記念講演 「私が出会った家族研究の四先達 —鈴木・有賀・小山・喜多野の諸先生— 日本家族社会学学会初代会長 森岡清美 | (007) |
| 16:45~18:15 | 総会 | (007) |
| 18:30~20:00 | 懇親会 | (学生ラウンジ) |

▼第2日 2010年9月12日（日）

| | | |
|-------------|---|---|
| 08:30~ | 受付開始 | 711 |
| 09:00~11:00 | 自由報告(2) ④出産・家族形成 ⑤家族・アイデンティティ ⑥結婚・パートナー関係 ⑦親子関係 テーマセッション(2) 「21世紀における家族のトレンド —NFRJ 98、03、08 データからみえる家族—」 | (733) (721) (722) (723) (731) |
| 11:15~13:15 | 自由報告(3) ⑧家族の変容 ⑨子ども・教育 ⑩高齢者・介護 テーマセッション(3) 「欧米の家族の変化」 | (721) (722) (723) (732) |
| 13:15~14:15 | 昼休み 編集委員会 研究活動委員会 NFRJ委員会 庶務委員会 | (724) (725) (731) (726) |
| 14:15~17:00 | シンポジウム 「日本の家族の変化とこれから」 | (007) |

大会プログラム

第1日 9月11日(土)

受付開始 (711)

9:30~

午前の部

10:00~12:00

自由報告(1)

①仕事と生活 (721 教室)

子育て家庭における父親収入と母親就労の動向
—全国消費実態調査の個票分析より—
仕事から家庭への葛藤・促進—JD-R モデルによる分析—
育児期の女性の就業とメンタルヘルスに関するパネルデータ分析
戦争と産婆—第二次世界大戦が産婆職選択に与えた影響—

司会 坂本有芳(東京理科大)

山田昌弘(中央大学)

高橋桂子(新潟大学)

西村純子(明星大学)

白井千晶(日本学術振興会)

②性別分業・父親役割 (722 教室)

共働き男性の性別役割分業意識と育児・家事参加
に対する妻の要因
父親の家事・育児のロールモデルは存在するのか?

司会 酒井計史(国立女性教育会館)

中川まり(お茶の水女子大学・院)

林葉子(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター)

岩下好美(お茶の水女子大学・院)

乾順子(大阪大学・院)

既婚男性の仕事観の変化と家事・育児参加
就業や家族に関する意識は家事分担に差異をもたらすのか?

③ライフコース (723 教室)

ゼロ年代のライフコース(1)—JGSS-2009 ライフコース調査
の設計・研究視角・予備的分析結果—
【報告キャンセル】ゼロ年代のライフコース(2)—JGSS-2009 ライフコース調査
による職歴と結婚イベントの分析—
ゼロ年代のライフコース(3)—JGSS-2009 ライフコース調査
による子育て世代の分析—
父不在層のライフコース—SSM データを用いた時系列分析—

司会 杉野勇(お茶の水女子大学)

岩井八郎(京都大学)

平尾桂子(上智大学大学院)

佐々木尚之(大阪商業大学 JGSS
研究センター)

余田翔平(東北大学)

ラウンドテーブル (733 教室)

私の家族社会学研究

—学会化以前の家族社会学セミナー時代
をふりかえりながら—

コーディネーター 牧野カツコ(元お茶の水女子大学)

望月嵩(元大正大学)

袖井孝子(元お茶の水女子大学)

目黒依子(元上智大学)

野々山久也(甲南大学)

渡辺秀樹(慶應義塾大学)

昼休み (各委員会)

12:00 ~13:30

午後の部

13:30～16:45

13:30～16:00

学会化 20 周年記念 編集・研活共同企画テーマセッション(007 教室)

日本の家族社会学は今—過去 20 年の回顧

家族社会学と質的研究
—質的な家族研究の知識社会的考察—
日本の家族社会学の方法論的な発展指針を探る
—計量研究者の立場から—
家族社会学における家族史・社会史研究

司会 藤崎宏子(お茶の水女子大学)

山田昌弘(中央大学)

木戸功(札幌学院大学)

保田時男(大阪商業大学)

米村千代(千葉大学)

コメンテーター 牟田和恵(大阪大学)

渡辺秀樹(慶應義塾大学)

14:00～16:00

テーマセッション(1) (731 教室)

ワーク・ライフ・バランス研究における問いの立て方

長期の視点で見たワークライフバランス
ワーク・ライフ・バランスと家族のウェルビーイング
中高年期のワークライフバランス—資産と所得の視点から—
非正規雇用者のワーク・ライフ・バランス

コーディネーター 末盛 慶(日本福祉大学)

永瀬伸子(お茶の女子大学)

藤本哲史(同志社大学)

小林淑恵(慶應義塾大学グローバル COE 研究員)

松田茂樹(第一生命研究所)

16:15～16:45

学会化20周年記念講演 (007 教室)

私が出会った家族研究の四先達

—鈴木・有賀・小山・喜多野の諸先生—

森岡清美(日本家族社会学会初代会長)

総会 (007 教室)

16:45～18:15

懇親会 (学生ラウンジ)

18:30～20:00

第2日 9月12日(日)

受付開始 (711)

8:30~

午前の部

9:00-13:15

9:00~11:00 自由報告(2)・テーマセッション(2)

自由報告(2)

④出産・家族形成 (733 教室)

社会的排除とパートナー関係形成
—東アジアと欧米の比較分析—
子ども数をめぐる夫婦間の意思決定過程
少子化・人口減少とは何か
—〈再生産システムとしての家族〉の観点から—
デンマークにおけるカップル形態の移行理由と子どもをもつこと
—聞き取りデータをもとに—

司会 安藤由美(琉球大学)

小島宏(早稲田大学)

岡村利恵(お茶の水女子大学・院)
加藤彰彦(明治大学)

青木加奈子(奈良女子大学・院)

⑤家族・アイデンティティ (721 教室)

韓国の女性雑誌から見る「家族計画」
—1960年代から1970年代を中心に—
若年女性の「自立」意識に関する一考察—親子の語りを通して—
台湾の30代未婚者における結婚とキャリアに関する意識
女性雑誌にみる「女性間格差」

司会 大瀧友織(広島国際大学)

李知淵(お茶の水女子大学・院)

郭麗娟(お茶の水女子大学・院)
久木元真吾(家計経済研究所)
橋本嘉代(お茶の水女子大学・院)

⑥結婚・パートナー関係 (722 教室)

国際結婚における移住女性の結婚満足感についての質的研究
—日露国際結婚の事例を中心に—
ゲイカップルにおける仕事、家事、愛情のあり方
—異性愛家族を対象とした家事分担理論の検討を通じて—
東アジアにおける世代間支援の特徴と夫婦関係
—EASS2006 データを用いた日・韓・中・台の比較—
ハワイに滞在する日本人のトランスナショナル・ファミリー
—夫婦関係、階層戦略、生きやすさ—

司会 神原文子(神戸学院大学)

Mukhina Varvara(熊本大学・院)

神谷悠介(中央大学・院)

李秀眞(大阪商業大学 JGSS 研究センター)
五十嵐洋己(University of Hawaii)

⑦親子関係 (723 教室)

知的障害のある子をもつ母親が語る「結婚」
—ICF-CY で分類した FGD から—
中国農村部における父親の統制行動とその規定要因
—山西省 A 市高校生の保護者を対象として—
韓国の成人未婚女性の親子関係と自立困難の経験
—母親・父親・娘のマッチング・データの分析から—
父親から青年期以降の子どもへの関わり

司会 斐智恵(慶應義塾大学)

下尾直子(日本女子大学)

劉楠(お茶の水女子大学・院)

ユン・ジンヒ(お茶の水女子大学・院)

大島聖美(お茶の水女子大学・院)

テーマセッション(2) (731 教室)

21世紀における家族のトレンド

—NFRJ98、03、08 データからみえる家族—

結婚と出産の変化と持続性—未婚化・晩婚化は少子化の要因か?—
世代間居住関係の変容と規定要因—NFRJ08・03・98 の比較を通じて—
離婚経験者にみる等価世帯所得の男女格差とその要因
—第 1-3 回全国家族調査データによる定量的分析—

コーディネーター 嶋崎尚子(早稲田大学)

福田亘孝(青山学院大学)
田淵六郎(上智大学)
田中重人(東北大学)

11:15~13:15 自由報告(3)・テーマセッション(3)

自由報告(3)

⑧家族の変容 (721 教室)

喪主身分の現在

—毎日新聞「物故者」欄と2つの地方紙「おくやみ」欄からの考察—
ステップファミリーにおける継親子間の養子縁組と別居親子間関係
—インタビュー事例に見る離婚・再婚後の家族形成と法制度—
里親という家族実践への接近
—委託終了後の子どもとの関わりの展望から—
ヘテロセクシュアルな親とそうではない子ども
—ジェンダーから見るヘテロセクシュアルな親の経験—

司会 和泉広恵(日本女子大学)

金沢佳子(千葉大学・院)

菊地真理(奈良女子大学)・
野沢慎司(明治学院大学)
安藤藍(お茶の水女子大学・院)

三部倫子(お茶の水女子大学・院)

⑨子ども・教育 (722 教室)

両親のペアレンティングはどのように未就園児の社会的行動に影響を
及ぼすのか—包括的理論の構築と実証的検討—
成人へのがん情報普及方法のあり方に関する研究—小学校高学年を
対象としたがん教育の評価と子から親への情報伝達—
「その後」からみる親にとっての不登校問題
父親の養育態度と支援的かかわりの要因

司会 小玉亮子(お茶の水女子大学)

加藤邦子(日立家庭教育研究所)

助友裕子(国立がん研究センター)

菊地千夏(北海道大学・院)
佐々木卓代(お茶の水女子大学・院)

⑩高齢者・介護 (723 教室)

北京市における高齢者の生活と社会保障—2009 年調査から—
【報告キャンセル】高齢者介護における公私の役割分担に関する考察
—親族介護における『交渉過程』と『動機付けの変化』に注目して—
家族におけるジェンダー構造—高齢者介護場面に着目して—
男性介護者の介護ネットワーク
—セルフヘルプグループへの参加者の事例より—

司会 井口高志(信州大学)

聶海松(東京農工大学)
角能(東京大学・院)

川口かすみ(早稲田大学・院)
段東海(神戸大学・院)

テーマセッション(3) (732 教室)

欧米の家族の変化

米国の家族と社会学研究—変容と現状—
スウェーデンの家族—多様なパートナー関係と子育て—
フランスの家族—新しい絆を模索する社会—

コーディネーター 高橋美恵子(大阪大学)

石井クンツ昌子(お茶の水女子大学)
善積京子(追手門大学)
船橋恵子(静岡大学)

昼休み

13:15～14:15

午後の部

14:15～17:00

シンポジウム (007 教室)

日本の家族の変化とこれから

世帯動態調査からみた家族の現状と変化
JGSS-2000～2010 からみた家族の現状と変化
NFRJ-1998/2003/2008 からみた家族の現状と変化

司会 宮本みち子(放送大学)

松田茂樹(第一生命経済研究所)

鈴木透(国立社会保障・人口問題研究所)

岩井紀子(大阪商業大学)

稲葉昭英(首都大学東京)

コメンテーター 石井クツ昌子(お茶の水女子大学)

善積京子(追手門学院大学)

船橋恵子(静岡大学)

連絡事項

1. 参加にあたって

● 大会参加登録について

今年度より、大会参加費や懇親会費の事前納付以外に、大会参加登録を行っていただくことになりました。大会に参加される方は、(報告をされない場合でも)大会参加登録をお願いいたします。Web が利用できる環境の方は、日本家族社会学会ホームページ(第20回大会ホームページ)から登録を行うことができます。ログイン名とパスワードが必要ですが、ログイン名は学会からの送付物のタックシールに記載されている番号(数字8桁、会員名簿に記載されている数字を下4桁、上4桁の数字を0にした番号)です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせることが可能です。Web が利用できない環境の方は、同封されている登録票を用いて、ファックスまたは郵送で登録をお願いします。送信・郵送先は日本家族社会学会大会ヘルプデスク(Fax: 03-3368-2869、〒169-0075 新宿区高田馬場4-4-19 (株)国際文献印刷社内)となります。

なお、大会参加登録をしていない場合に当日の参加が認められないということはありません。参加登録は事前納付などの確認と、ネームカードの用意などのために必要となります。なお、参加登録は8月24日(火)までをお願いいたします。

● 大会参加費・懇親会費・お弁当代の事前納付について

事前納付は、同封されている郵便振替票(00110-7-512376、加入者名・日本家族社会学会大会)を用いた振込か、カードによるオンラインでの支払いが可能です。どちらも、8月24日(火)までをお願いいたします。カードの場合は、学会ホームページで大会参加登録をされる際に、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と同時にオンラインでの事前納付が可能になります。

● 当日の受付業務の軽減のためにも、参加される方は、大会参加費等の事前納付をお願いいたします。

事前納付の場合、大会参加費は報告要旨集込みで、一般会員3,500円、学生会員2,500円です(当日参加の場合の参加費は、一般4,500円、学生3,000円)。事前納付後大会にご出席できなくなった場合、報告要旨集は後日郵送いたしますが、参加費の払い戻しはご容赦ください。

なお、会費減額申請が承認されている会員(常勤職にない会員)は、学生会員の料金となります。事務処理の都合上、会費減額申請は8月10日をもって締め切らせていただきます。

● 非会員で参加をご希望の方は、大会当日に受付までお申し出ください。

非会員の方の参加費は、報告要旨集を含んで、一般4,500円、学生3,000円です。

● 大会の参加受付は、第1日目(9月11日)は午前9時30分、第2日目(9月12日)は午前8時30分からです。

2. 大会報告要旨集

- 大会当日受付でお渡しいたします。大会に不参加で要旨集をご希望の方は、別途、事務局まで連絡ください。大会終了後、要旨集 2,000 円+送料でお分けします。
大会実行委員会事務局メールアドレス: jsfs-taikai@bunken.co.jp

3. 懇親会

- 大会第 1 日目 (9 月 11 日) 午後 6 時 30 分より、会場内にて懇親会を開催いたします。会費は事前納付の場合、一般会員 3,500 円、学生会員 2,500 円 (当日支払いは一般 4,000 円、学生 3,000 円) です。参加をご予定の方は、大会参加費とともに事前納付をお願いいたします。懇親会費も、ご欠席の場合の払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。大会参加費と同様に、会費減額申請が承認されている会員(常勤職にない会員)は、学生会員の料金となります。

4. 昼食

- 事前の参加手続きの際に、お弁当のご予約を承ります。代金は1日目、2日目各1,000円 (含むお茶) です。お弁当を希望される方は、大会参加費とともに事前納付をお願いいたします。大会当日のお弁当のご注文は受けかねますのでご注意ください。なお、大学の周辺にはコンビニエンスストアや飲食店などがいくつかあります。大会当日、それらの簡単な所在図を用意する予定です。

5. 参加費・懇親会費・弁当代 事前納付の振込先

<<郵便振込みの場合>> *手数料は本人負担となります。

郵便振替口座番号: 00110-7-512376 加入者名: 日本家族社会学会大会

一般: 大会参加費 (4,500 円、事前納付 3,500 円)・懇親会費 (4,000 円、事前納付 3,500 円)

学生・会費減額申請が承認された会員

: 大会参加費 (3,050 円、事前納付 2,500 円)・懇親会費 (3,000 円、事前納付 2,500 円)

一般・学生ともに 一日目弁当代 (1,000 円)・二日目弁当代 (1,000 円)

<<カード払いの場合>> *手数料は本人負担となります。

一般: 大会参加費 (事前納付 3,690 円)・懇親会費 (事前納付 3,690 円)

学生・会費減額申請が承認された会員

: 大会参加費 (事前納付 2,640 円)・懇親会費 (事前納付 2,640 円)

一般・学生ともに: 弁当代 一食の場合 (1,060 円)・二食の場合 (2,110 円)

6. 研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告の報告時間は 20 分、質疑応答は 5 分です。
- 大会当日の配布資料について
自由報告は 80 部、ラウンドテーブル・テーマセッション報告は 100 部、シンポジウムおよび学会化 20 周年記念テーマセッションは 200 部を各自でご用意ください。会場での個別のコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できかねますので、ご了承ください。
- 自由報告の司会者をお願い
参加者の便宜のため報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。
- 報告用の機器としては、Windows PC による MS-Office (PowerPoint) をご用意いたします。
- PowerPoint 等の使用に関しましては、以下の点にご留意ください。
 - a. 開催校では報告者の希望に添って、最大限の準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。また、万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して参加者に配布できる印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考え下さい。

- b. 機器を使用する報告者は、部会開始 **20 分前**に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
- c. 開催校では、プロジェクターに接続済みのノートパソコン（Windows Vista , Microsoft Office Power Point 2007 (pptx 形式)）をすべての部会の教室に用意します。
- d. データは USB メモリーに記録してお持ちください。**Office2010 には対応しておりません**ので、必ず Power Point 2007 以下の形式もしくは PDF 形式で保存したデータをお持ち下さい。
- e. ご自分のパソコンを持ち込んで使用される場合には、接続に多少の時間がかかりますので、事前にパソコンを立ち上げておくなどの余裕をもって準備をお願いします。プロジェクターとの接続のために、パソコンに RGB コネクタが搭載されているか、別途 RGB に接続するためのアダプタが必要になります。RGB に接続する為のアダプタが必要な場合はご自身でご用意をお願い致します。
- f. レーザーポインタなど必要とされる機器についてはご自分でご用意ください。

7. 宿泊案内

- すでにメルマガやニュースレターでもお知らせしましたとおり、各自でご予約をお願いいたします。

8. 大会期間中の託児室の設置について

- 大会期間中、成城大学内に託児室を設置いたします。「特定非営利活動法人 保育サービス つくしんぼ」から、保育者を派遣してもらいます。利用料は、助成金を申請予定のため、無料です。
 利用時間 9月11日（土） 9：15～17：30 （12：00～13：30除く）
 9月12日（日） 8：45～17：30 （13：15～14：15除く）
 両日とも、委員会に出席する方は、昼休みに託児室を利用することができます。
- 申し込み方法：
 保育を希望される方は、**①～⑤の内容を必ずご記入の上、8月19日（木）までに**、下記宛にお申し込みください。（申し込み期日を過ぎて保育をご希望される方は、別途ご相談ください。）
 ①保護者氏名、②お子さんのお名前と年齢、③アレルギーの有無、④託児室利用についての連絡先：電話番号とメールアドレス、⑤保育希望の日時（何日の何時から何時まで保育を希望するか）
申込み先：大会実行委員会事務局メールアドレス jsfs-taikai@bunken.co.jp
 注：お子さんの昼食等は保護者にご用意ください。また、助成報告書作成のため、保育風景としてお子さんの写真を撮ることをご了承ください。

9. その他

- 当日、抜き刷り交換コーナーを設けますので希望者は **8月27日（金）までに大会実行委員会事務局に連絡**ください。なお当日の抜き刷り冊子の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。
- 例年同様、出版社に書籍・雑誌を展示・販売いただくコーナーを開設いたします。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局（jsfs-taikai@bunken.co.jp）宛にメールにてお問い合わせください。
- 大会ホームページ (<http://www.wdc-jp.biz/jsfs/conf2010/index.html>) にも同様の内容を掲載しています。

会場案内

【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局：成城大学社会イノベーション学部 石原邦雄研究室内
 〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20 成城大学
jsfs-taikai@bunken.co.jp

大会本部（大会当日）：715 教室 TEL: 03-3482-9743

【会場へのアクセス】

○東京駅から小田急線成城学園前まで所要時間 35～45 分

東京（JR 中央線(快速) 約 14 分）→新宿

新宿（小田急小田原線(急行) 約 15 分、(区間準急)約 22 分）→成城学園前

○羽田空港から小田急線成城学園前まで所要時間 70～80 分

羽田空港（京浜急行約 20 分）→品川

品川（JR 山手線約 20 分）→新宿

新宿（小田急小田原線(急行)約 15 分、(区間準急) 約 22 分）→成城学園前

※小田急線の特急ロマンスカーと快速急行は、成城学園前には停まりませんのでご注意ください。急行または区間準急は、約 10 分間隔で運行されています。

【会場周辺マップ】

成城学園前駅（北口）より、徒歩 3 分→成城大学正門



* 今回使用する会場は 7 号館です。学内で別の学会が開催されておりますので、ご注意ください。

【大会実行委員】

石原邦雄（実行委員長・成城大学）大友由紀子(十文字学園女子大学)、田中慶子(家計経済研究所)、永井暁子(日本女子大学)、中西泰子(相模女子大学)